

機関リポジトリとは？

機関リポジトリとは、研究者が自身の著作論文をインターネット公開する、所属機関によって構築されたウェブサイトです。以下は一例で、国立大学だけで、76の機関リポジトリが構築されています。

福井大学



東京大学



小樽商科大学



新潟大学



筑波大学



学術研究の成果は人類の共有資産です。

研究者が自らの学術的知見を広く世界に公表することを支援するために、平成23年2月現在、国内では196、海外では1,851の大学・研究機関等で行ったウェブサイトが整備されています。

学協会にとっての機関リポジトリ

機関リポジトリの読者は、大学・研究機関の所属研究者以外に、産業界や一般市民層にも広がっており、Google等のインターネット検索からのアクセスが9割を超えます。

出版者: American Institute of Physics
誌名: Journal of Applied Physics
巻: 60
号: 6
開始ページ: 2046
終了ページ: 2049
DOI: [10.1063/1.337207](https://doi.org/10.1063/1.337207)
抄録: The electrical type, resistivity, and donor or acceptor concentration of CdTe films deposited electrochemically at various potentials were measured. The carrier mobilities of the films were determined from these results. The deposition potential dependence of the resistivity was mainly controlled by the deposit potential dependence of the donor or acceptor concentration. The carrier mobilities were very small compared with those in single crystals due to the scattering of the carriers at grain boundaries. Journal of Applied Physics is copyrighted by The American Institute of Physics. The electrical type, resistivity, and donor or acceptor concentration of CdTe films deposited electrochemically at various potentials were measured. The carrier mobilities of the films were determined from these results. The deposition potential dependence of the resistivity was mainly controlled by the deposit potential dependence of the donor or acceptor concentration. The carrier mobilities were very small compared with those in single crystals due to the scattering of the carriers at grain boundaries. Journal of Applied Physics is copyrighted by The American Institute of Physics.
Rights: Copyright © 1986 American Institute of Physics
資料タイプ: article

刊行側の条件に従い、初出情報と著作権を明示

学協会としての社会貢献のために、また、学協会刊行の論文誌の購読層に留まらず、自らの学術的知見を世界に公表したいという学協会員の希望に応じ、海外では62%の主要ジャーナル(商業出版社刊行のものも含む)が、学協会員が著作論文を自分でウェブ公開する権利をみとめています(英国ノッティンガム大学調べ)。

◀ アメリカ物理学協会の刊行誌に発表した論文を、著者自身が大学ウェブサイトで公開している例

機関リポジトリ FAQ



学協会にとって機関リポジトリのメリットはなんですか？

世界的な規模で進みつつある、学術情報のオープンアクセスへの賛同と寄与を示すことができます。また、機関リポジトリはインターネットを介して、一般市民に学術研究の成果に触れる機会を提供する、学協会の社会貢献の一つのかたちとなります。



機関リポジトリの発展に協力したいのですがどうすればよいですか？

オープンアクセス思潮の動向について学協会員に意識喚起し、機関リポジトリで著作論文を公開することを奨励してください。（著作権を学協会が保有しており、機関リポジトリでの論文公開について著者自身の自由が制限されている場合は、次項をご覧ください。）



著者に権利を許諾する具体的な方法を教えてください。

投稿論文の受理時に、著者から著作権を譲受していない場合は、とくに何もする必要はありません。著者と「著作権譲渡契約」を結んでいる場合は、著者が自らの著作論文を所属機関等のウェブサイトから公開することについて許諾する旨の条項を盛り込んでください。



論文誌の編集にはコストもかかっています。機関リポジトリでも同じ論文が公開されるのは避けたいのですが、どうすればよいですか？

著者最終稿の公表のみ許諾する、機関リポジトリでの公開までに一定の期間を置くといった方法による事例もあります。論文誌の購読者以外にも、学術研究成果に広くアクセスできる機関リポジトリにご理解いただき、機関リポジトリでの公開の方針を検討いただきたく存じます。



著者や著者の代理の大学職員の方から、よく登録可否の問合せを受けます。同じことを毎回答えるのは無駄な気がします。

学協会著作権ポリシー（SCPJ）データベースにご連絡ください。SCPJは、著者自身による論文公開の可否について、国内の各学会の考え方がまとめられているウェブサイトです。研究者は、このウェブサイトを見て、自分が学会誌に書いた論文を自らウェブ公開できるかどうかを判断します。

Web ▶ <http://scpj.tulips.tsukuba.ac.jp>
MAIL ▶ scpj@tulips.tsukuba.ac.jp

機関リポジトリについて、詳しくは国立情報学研究所学術機関リポジトリ構築連携支援事業のWeb ページをご覧ください。（<http://www.nii.ac.jp/irp/>）